



大橋 博之 議員

- 1、自治会制度導入後の現状はいかに
- 2、市民向けの予算説明書を作成せよ

Q 平成29年第2回定例会においてその年の4月よりスタートした自治会制度へのより良い提言になればと思いい般質問をした。

その後多くの課題が見えてきた。現在の取り組み状況について次の7項目について伺う。

①8つの市民センターとの整合性について②自治

会活動においての自主財源の確保の現状について③自治会制度が充実するための市職員のかかり方について④自治会単位の規模の妥当性について⑤現在の役員体制で充分か⑥旧行政区単位からの自治会制度への移行はスムーズか⑦第2期東松島市地域福祉推進計画の中で自治会の役割が重要に

なると提言されているが体制づくりはいかに。

A 市長 ①各地域の住民と調整を図りながら一元化や統合などの見直しの検討が必要②積極的

に取り組んでいる事例はあまり見受けられない③部課長の行事には積極的に参加してほしいと呼びかけて

いる④ガイドラインでは概ね250世帯。将来の人口減少や高齢化も見据えガイドラインの規模での運営を推奨する⑤各地区において交付金を活用し適正な人員が配置されている⑥地域の特徴を活かし活動。おおむねスムーズに移行⑦地域住民が抱える様々な生活課題に気づく体制づくりと課題解決のための専門機関等との相互連携の強化が必要と考えている。



▲住民自治の可能性を探ろう



▲はかま着用での卒業式と鳴瀬桜華小移転に係る造成工事現場



手代木せつ子 議員

- 1、市内各小学校高学年からの制服導入について
- 2、鳴瀬桜華小学校の新校舎建設に伴う地域住民への周知方について

Q ①市内小学校の卒業式における服装がはかま着用等、年々華やかさが増している。子の負担、親の負担を考えると5年生からの制服導入を提案するが、それ

に関するアンケート調査や制服導入の際の助成支援はないか。

A 市長 ①親の経済的負担も心配だが、それ以上に家庭の経済的

事情ではかまを着られない少数の児童の心情が気かりである。

5年生以上での制服導入(ブレザー等)についての提案であるが2年間着用でき、卒業式や修学旅行などの節目に悩まず参加できる。

新たな経済負担も心配されるが、導入しても良いのではないかと。

アンケート調査も含めて十分に学校と保護者の皆様との意見交換が大事

と思う。しかし、市の助成支援については難しい。

A 教育長 ①県内の公立小学校での制服導入はないが、問題提起を含めて来年2月にも保護者を対象に、卒業式ではかま着用や制服導入についてアンケートを実施する予定である。

②小野市民センター等への完成模型を常設展示は難しいが、進捗状況が見て取れる現場写真や完成予想図を展示する等の対応を検討する。

Q 小5からの制服導入の考えは

A 保護者アンケートを実施する

